

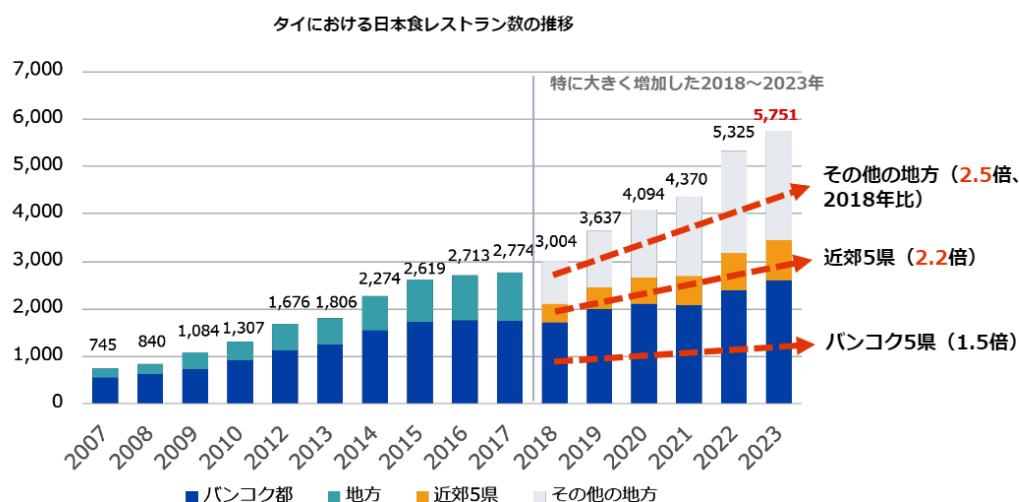
報道関係各位

2024 年 5 月 28 日  
日本貿易振興機構(ジェトロ)  
茨城貿易情報センター

東南アジア最大級の食品見本市「THAIFEX」が開幕  
～ 茨城県内の食品企業2社がジャパンパビリオン出展 ～

日本貿易振興機構(ジェトロ)は 5 月 28 日にタイ・バンコク近郊で開幕する「THAIFEX-Anuga Asia 2024」(5 月 28～6 月 1 日、以下「THAIFEX」)においてジャパンパビリオンを設置、茨城県内から 2 社が出展します。日本食レストランが近年増加しているタイ市場はもちろん、周辺アジア諸国への販路拡大を目指します。

タイの日本食レストラン数は 2023 年に 5,751 店舗と、前年から 8.0%(426 店舗)増加しました。特に近年は首都バンコクに比べて、バンコク近郊 5 県やその他の地方で増加率が大きく増えており、日本食市場の裾野が拡大しています。そのような中で、THAIFEX は 13 万平方メートルの広大な展示スペースに、タイ国内および世界 45 カ国・地域から 3,000 を超える企業・団体が出展し、80,000 人以上の来場者が訪れる東南アジア最大級の総合食品見本市であり、今年は 40 社・団体がジャパンパビリオンに出展します。



今回初出展となる筑波乳業株式会社(石岡市)は「濃いアーモンドミルク」や「練乳パウダー」などを出品。営業企画部の飯田部長は「アジア圏の新規開拓先としてタイへの販路拡大及び新規ディストリビューターの開拓を目的として出展。またタイで製造されているアーモンドミルクなどがインドネシアやベトナムでも販売されていることから、どのようなプロモーション販売を実

施しているのか市場視察も行う」と述べています。

ジャパンパビリオンに出展した株式会社清水商店(大洗町)はモーリタニア蒸し蛸を出品。同社の清水栄基社長は「タイは日本食の普及が進んでいること、またアジアのショーウインドウとして周辺国バイヤーと商談できることが魅力。インド、カンボジア、ミャンマー、インドネシア等とのバイヤーとの商談も積極的に行いたい。日本産水産物の輸出拡大に寄与したい。大きな志を持って日本食を広めていきたい。」と意気込みを語っています。

【参考写真 - クレジットは「ジェトロ茨城」提供でお願いいたします】

【本件に関する連絡先】

ジェトロ茨城貿易情報センター 担当:河内

〒310-0802 茨城県水戸市柵町 1-3-1 茨城県水戸合同庁舎 4 階

Tel: 029-300-2337 Email: IBR@jetro.go.jp